

はじめに

～ 未来を先取る 日本一健康文化都市へ ～



平成17年4月に現在の袋井市が誕生し、10年が経過しました。

この間、“自らのまちは自らが創る”という信念のもと、市民の皆様の一体感の醸成と市勢の発展に向けて、地域医療の充実をはじめ、子育て支援や防災対策、さらには企業誘致や土地区画整理事業などに積極的に取り組んできたことにより、本市は県内でも数少ない、人口減少に歯止めがかかっているまちとなっています。

しかし、今日の我が国では、人口減少や少子高齢化の急速な進行が社会問題となっており、本市においても、今後、この問題はまちづくりを進めるうえで、避けて通れないものとなっています。

また、この10年間で、社会環境は大きく変化し、リーマン・ショックによる経済不況や東日本大震災の経験、ライフスタイルの多様化や情報通信技術の進展など、これまでにない様々な課題に向き合う必要が出てきています。

今回策定する第2次総合計画は、大きな転換期を迎えている本市の新たな一步の方向性を定めるものです。

このため、これまでの取組を活かしながら、“日本一健康文化都市”のさらなる飛躍を目指し、まちの将来像に『活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市』を掲げ、“子育て・定住・市民力”の3つのキーワードをもとに、まちづくりを進めていくこととしました。

市民一人ひとりが幸せに住み続け、また、住んでみたくなるまちを築くため、市民の皆様とともに、時代の一步先を行く“日本一健康文化都市”の実現を目指し、新たなまちづくりに取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。

おわりに、総合計画審議会委員の皆様をはじめ、パートナーシップ500人会議や地域座談会への参加など総合計画の策定にご協力いただいた多くの皆様に、心より感謝を申し上げます。

平成27年9月

袋井市長 原田 英之



袋井市民憲章

わたくしたちは、豊かな自然と文化に恵まれている郷土に誇りをもち、人も自然も美しい健康文化都市をめざして、この憲章を定めます。

1. きまりを守り 住みよいまちをつくります
1. 思いやりの心で人に接し 明るい家庭をきずきます
1. 心と体をきたえ 働く喜びをわかちあいます
1. 教養を豊かにし 文化の向上につとめます
1. 郷土を愛し 美しい環境をつくります

(平成18年4月1日制定)

日本一健康文化都市宣言

～人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市～

青く輝く海原と緑あふれる大地に抱かれ、先人によって築かれたふるさと
ふくろいを、わたしたちは受け継いできました。

この恵まれた地域で、心やからだの健康を増進することはもとより、健康
生活を支える自然を守り、地域社会を充実させていくことも、わたしたち
みんなの願いです。

わたしたちは、健康意識を高くもち、一人ひとりが「心の健康」、「からだ
の健康」、「まちの健康」を追求し、すべての人びとを幸せにしていきます。

わたしたち袋井市民は、住んでよかったという喜びを実感できるまちを
目指し、ここに袋井市を日本一健康文化都市にすることを宣言します。

平成22年5月16日

核兵器廃絶平和都市宣言

地球上からすべての核兵器を廃絶し、世界の恒久平和を実現することは、
唯一の被爆国である日本に住むわたしたちの願いである。

豊かな自然に恵まれたふるさとを永久に守っていくために、わたしたち
には、平和を願うすべての人びとと手を取りあい、核兵器の恐ろしさと平和
の尊さを次の世代へ語り継いでいく使命がある。

わたしたちは、未来を担う子どもたちが安心して暮らしていける世界を
築くため、ここに袋井市が核兵器廃絶平和都市であることを宣言する。

平成22年5月16日

『市の木・花・鳥』

(平成22年5月16日制定)

市の木：キンモクセイ

庭木として多くの家庭などに植えられ、広く親しまれています。秋にはオレンジ色の花が咲き、甘い香りが漂います。



市の花：コスモス

秋になると、市内各地で彩り豊かなコスモス畑が見られます。可憐で美しく親しみやすい花です。



市の鳥：フクロウ

鎌倉時代の遺塵いじん和歌集の中でも「袋井」に掛けて詠まれるなど、歴史的な関わりが深く、市名と語感的にも類似していることから親しみを感じる鳥です。

